2がつの小さな森のこども園だより

〈H.2.2.19〉

年が明け、新年がスタートしたばかりですが、日がどんどんすぎ、あっというまに2月になりそうです。
特に、年明けの年度末までの3ヶ月は早い気がします。
今年は、インフルエンザの流行が今までで最多といわれていますので、まだいまから心配で気になりますね。
なんとか、うちの園での流行はさけたいものですが…。
なるべくみんなそろってのカリキュラムをすごしていければいいですね。
2月も盛りだくさんです。

まつゆきそうの芽がたくさん出てきています。
すでに一足早く、咲いていたまつゆきそうもありましたが、森は生きているのはなしをし始めたのにあわせたかのように、出てきてくれています。たくさん一度に咲くと、かわいらしくますますきれいでしょうね～。楽しみです。
みなさんも気をつけてみられてみてください。

森は生きているのはなしは、2回程していますが、2回とも、はなしのきき方、集中力がなくて、ちょっと残念でした。
〝遊びをしたい〟とはりきっているような子ども達でしたので、卒園式でするのは、すご決めたところでしたけど、実際、話をする時や、歌を唄うときが、なかにはいりこめてないことが多いので、今年は、そういうみで、どうかな…と思っているところです…

七草粥を、みんなでつくりました。
春の七草を一つずつ、みせて、説明し、うちの庭の中でも、七草をみつけようということで、子ども達に採してもらいました。〝これはどうかな？〟と、にてる草をもってきては、くらべながら、真剣に採していた子ども達でした。
しばらくゆったりと七草採しの時間をとりましたが、決局、私が正解を教えそれをなまのまま、みんなでひとくちずつ食べました。（はこべらです）
その後、みんなで七草を切って、大鍋に入れて、交代でかきまぜながら七草粥をつくりました。
人は、自然の中で生きています。
この春の七草の日に七草をみつけ、みんなで七草粥を食し、味わうという小さな一つのことにしても、その中にあります。その積み重ねが、心豊かになることにつながるだろうし、特に重要な幼児期の五感の刺激と発達にもとてもいいことだと思います。私達大人にとっても、なんともいやされる活動とも思います～どうでしょうか～？

年長さんは、小学校入学にむけて昼寝なしなので、その時間に、みんなのおやつ作りや、準備、他にもいろいろなことをしてもらっています。
〝年長さんありがとう〟と、他の子ども達もお礼を言いあったりして、年長さんの役割や働きをみとめあう時でもあるようです。

毎年厳しい入園頭で、いつもかまえていますが、今年は、とてもおだやかな優しい方がこられて、話をきかれるところの観点もいつもとちがい、〝いい保育をされていますね〟〝10数年、ここまでされるのにいろいろたいへんだったでしょう〟とねぎらいのことばもかけてくださり、初めて、わかっていただけた感じがし、あったかい時間でおえることができほっとしています。